

【講演要旨】

「ドイツDENTAURUM社の金属床実習」

～設計と理工と解剖～

高溶金属の長い歴史を持つドイツDENTAURUM社のシステムにて金属床製作の実習を二日間で行います。

コバルトクロームという金属はリン酸塩系埋没材を使用して製作していきますが日本にはクリストバライト系埋没材が古くから使用されて重宝されていますが、その感覚でリン酸塩系埋没材を使用するとトラブルの元になります。その使用法を理工学的に理解することにより膨張等をコントロール可能となり技工に幅が出てくると思います。

また、金属床はあくまで骨組みに過ぎず人工歯とフレンジがついて口腔内で機能するものでありトータルに解剖学をふまえた設計をしないと良い金属床義歯とはいえません。

以上を皆様と一緒に学んでいきたいと思えます。



【当日お持ちいただくもの】

1. 使い慣れたインスツルメント
2. 白衣
3. 可能であれば2～2.5倍程度のレンズ

【講師略歴】

松平 浩

徳島大学歯学部 解剖科目履修生

日本美術解剖学会 会員

筑波大学付属ロウ学校非常勤講師

デントウラム社 公認インストラクター